

2023-24 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1545 回 (12)

会 長 瀬 尾 義 裕 幹 事 黒 木 成 光

クラブ会長テーマ



「次世代に希望を繋ごう！～手を取り合って～」

日 時	2023 年 10 月 3 日 (火) 12 : 30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「君が代・奉仕の理想」 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



世界に希望を生み出そう

【 会 長 報 告 】

今月は「地域社会経済の発展月間」です。ロータリーの重点分野というのは現在7つあります。平和の推進、疾病撲滅、水と衛生、母子の健康、教育支援、地域経済の発展、環境です。国際ロータリーの理事会が定めており、それぞれ「特別月間」が指定されているものです。

さて、当月の「経済と地域社会の発展月間」は貧困地域の経済発展を支援するものです。現在、雇用されているにもかかわらず1日に1ドル90セント（国際貧困ライン、2015年10月に世界銀行が指定）で暮らしている人の数は世界で約8億人（全人口80億人）です。この25年間で11億人が国際貧困ラインから抜け出していますが、世界銀行によると2020年には世界における貧困が20年以上ぶりに増加しました。これは、新型コロナウイルスの流行が折から貧困削減を減速させていた地域紛争や気候変動の影響を強めたためです。貧困層の内訳としては国際貧困ライン以下の5人のうち4人が農村部に住んでいて、全体の半数は子どもたちです。今後、気候変動によって、2030年までに6800万人から1億3200万人が新たに貧困層へ陥る可能性があると考えられています。これらの問題は、世界の貧困層の多くが集中しているサハラ以南のアフリカと南アジアで特に顕著です。2020年、就労可能年齢のうち労働市場に参加していた人は男性が74%であるのに対して女性は47%でしたが、とりわけ南アジア、西アジア、アフリカ北部では低く、その数は30%以下で、女性の貧困が地域の貧困に大きく関係していることが分かります。上記のような貧困を減少させるためには、良質な就労機会の公平な提供が必須の状況です。このような状況下、「経済と地域社会の発展月間」は貧困地域の経済発展を支援するもので、具体的には、起業家や地域社会のリーダーや地元団体を含む経済ネットワークの向上、雇用創出、地域社会での貧困の削減、地域社会の発展に関連する専門職業人のための奨学金支援などを支援する月間になっています。クラブ単体での国際的な奉仕事業には限界がありますが、国内の奉仕活動にも多いに参考にしたいと思います。

また、今月は日本独自の月間としての「米山月間」でもあります。ロータリー米山記念奨学会は、将来的に母国と日本との懸け橋となって活躍できる優秀な留学生を支援することを目的とした奨学事業です。当月間においては、米山奨学事業の意義を深く認識して戴くため、米山奨学生や担当委員からの卓話をお聞きしたり、クラブフォーラムなどを開催するよう推奨されています。当クラブでも10月17日に関連プログラムを予定しております。

最後に、来る10月24日は世界ポリオデーです。ポリオ（急性灰白髄炎）は脊髄性小児麻痺とも呼ばれ、ウイルスによって発生する疾病です。疾病名のとおり子ども（特に5歳以下）が罹患することが多く、麻痺などを起こす病気です。特に永続的な後遺症を残すことがあり、成人では亡くなる確率も高いものとなっています。1988年には125か国以上の常在国があり、推定で35万人のポリオ患者が発生していましたが、現在までに99%以上も減少し、常在国は2か国（パキスタン、アフガニスタン）になっています（最新6名）。人類が撲滅した唯一のウィルスは天然痘撲滅ですが、1980年代にアメリカ大陸からポリオウイルスを撲滅する活動から始まり、国際ロータリーとして、地球上のすべての小児をポリオから守るために撲滅を公約し、活動を維持発展させているものです。

上記3つの重点分野に改めて思いを致して頂くようお願いします。

【プログラム情報】

《ゲスト卓話》

福山シティフットボールクラブ
代表 岡本 佳大 様



すべての人に
「生きる勇気」と「明日への活力」を。

MISSION 1

開拓と挑戦

- 世界に繋がる道をつくる -

私たちは、常に未来を見据え、失敗を恐れず、関わる一人ひとりが
「素直・謙虚・誠実」の心を持ち、福山から世界へ繋がる道をつくります。

そして、小さな感動、感激を大切に、逆境を悲観せず、
順境に楽観せず、現状に満足せず、常に新しい分野を
開拓し挑戦し続ける姿勢が私たちクラブとしての考えです。

MISSION 2

心の豊さの創生

- 活力ある福山の未来創生に尽力する -

私たちは、希望に満ち溢れた活力ある福山を創生するため、クラブが中心となり、
地域の皆様にとって生きがいとなるコミュニティとして機能するクラブを目指します。

そして、活動を通して、地域の皆様に「生きる勇気」と「明日への活力」を
提供すると共に、真の心の豊かさを追求し続けます。

MISSION 3

次代のスポーツ文化の創生

- 100年先、1000年先の福山のため、
今、私たちが取り組むべきこと -

生涯スポーツ社会の実現
(スポーツ振興・健康維持増進・医療費削減)

地域コミュニティの創生
(地域住民の拠点づくり)

地域の活性化、郷土愛・誇りの創生
(スポーツを通じたまちづくり)

人材の育成
(スポーツを通じたひとづくり)

クラブ

- ・Jリーグに参入を果たし、2030年にはJ1で優勝争いのできるクラブを目指す
- ・アカデミーから、トップチーム昇格選手を累計15人、UEFAチャンピオンズリーグで活躍する選手を3人輩出する
- ・勝ち負けを超越し、福山市民の日常会話に「福山シティFC」が存在する状態まで地域のシンボルとして根差す

会社

- ・競争相手のいない事業領域を確立させ、創業100年を目指す
- ・利他の精神を忘れず、まちや子ども達の未来に投資をする
- ・時代の変化に適応し、優れた業績を残し続ける

地域

Jリーグが掲げる理念や百年構想に準じた「総合型地域スポーツクラブ」を理想とし、サッカーに限らず、やりたい競技を楽しめるクラブを目指します。

また、「地域課題解決型 総合クラブ」として、スポーツを通じて地域や企業の課題を解決しながら「まちづくり・ひとづくり・コミュニティづくり」に貢献します。



クラブ概要

クラブ名	福山シティフットボールクラブ
英文呼称	FUKUYAMA CITY FOOTBALL CLUB
呼称	福山シティ FC
役員	代表 岡本佳大
所在地	〒720-0054 広島県福山市城見町2丁目1-22 (Google Map)
TEL	084-961-4701
FAX	084-983-2370
ホームタウン	広島県福山市
活動エリア	備後エリア(福山市・府中市・神石高原町・尾道市・三原市・世羅町・笠岡市 井原市) 及び広島県全域

すべての人に
「生きる勇気」と
「明日への活力」を。

代表挨拶へ



【その他報告】

《各種表彰等》

【誕生日】



《10月3日生まれ》平田 恭彬 さん